

学校プロフィール(H20年度)

鈴鹿市立鈴峰中学校

記述項目	記述内容									
1 めざす学校像	全ての生徒が安心して楽しく学べる学校									
6 学校経営の基本方針について	<p>わかる授業の展開及び指導と評価の一体化を進めることで、「確かな学力」の育成を継続する。自尊感情を育て、お互いを思いやる心を持つ人間性豊かな生徒を育成する。</p> <p>家庭や地域との関係を密にし、相互の信頼関係を深めながら「開かれた学校」づくりに努める。同じ目標に向かってみんなで協力し、努力していく教師間のつながりを大事にしていく。</p> <p>教師は教育活動のあらゆる場面で愛情と熱意を持って生徒理解に努め、生徒が自分らしく生き生きと学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>規律ある生活・学習習慣を定着させる。</p>									
2 「価値」を提供する相手方について 相手方の区分	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;">生徒</td> <td style="width:33%; text-align: center;">保護者</td> <td style="width:33%; text-align: center;">地域の人々</td> </tr> </table>					生徒	保護者	地域の人々		
生徒	保護者	地域の人々								
現在の要求・期待	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達関係・部活・行事が楽しい。 ・ よくわかる授業をしてほしい。 ・ 自分を認めてほしい。 </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや問題行動がなく、安全に安心して学べる学校。 ・ 学力の向上や進路の保障。 ・ 気軽に相談したい。 </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動が充実し、生徒の活動も盛んで、地域として誇りに思える学校。 ・ 地域を担う人材の育成。 </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達関係・部活・行事が楽しい。 ・ よくわかる授業をしてほしい。 ・ 自分を認めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや問題行動がなく、安全に安心して学べる学校。 ・ 学力の向上や進路の保障。 ・ 気軽に相談したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動が充実し、生徒の活動も盛んで、地域として誇りに思える学校。 ・ 地域を担う人材の育成。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達関係・部活・行事が楽しい。 ・ よくわかる授業をしてほしい。 ・ 自分を認めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや問題行動がなく、安全に安心して学べる学校。 ・ 学力の向上や進路の保障。 ・ 気軽に相談したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動が充実し、生徒の活動も盛んで、地域として誇りに思える学校。 ・ 地域を担う人材の育成。 								
要求・期待の将来変化	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心の多様化が進む。 ・ 個別の要求に応じて欲しい。(個別化) </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校教育活動への保護者の意見反映の拡大。 ・ 教師への要求・期待の拡大 ・ 個人的な要望の増加 </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校運営への参画。 </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心の多様化が進む。 ・ 個別の要求に応じて欲しい。(個別化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校教育活動への保護者の意見反映の拡大。 ・ 教師への要求・期待の拡大 ・ 個人的な要望の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校運営への参画。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心の多様化が進む。 ・ 個別の要求に応じて欲しい。(個別化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校教育活動への保護者の意見反映の拡大。 ・ 教師への要求・期待の拡大 ・ 個人的な要望の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に加えて、学校運営への参画。 								
3 学校を取り巻く環境変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話やインターネットの普及。 ・ 家族構成の変化。 ・ 大型店の進出。 ・ 保護者の考え方の変化(集団の一員から個人中心へ) 									
4 教職員の人材育成について	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの教科研究授業の継続による指導力の強化。 ・ 専門職としての力量を高めるための研修機会の確保。 ・ コミュニケーションを重視した職場作り。 ・ 教師相互の信頼関係を高める。 ・ 人材育成の組織や体制の整備と機能化。 									
5 パートナーについて 主要なパートナー	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:16.6%; text-align: center;">教育委員会</td> <td style="width:16.6%; text-align: center;">保護者</td> <td style="width:16.6%; text-align: center;">地域の人々</td> <td style="width:16.6%; text-align: center;">関係機関 (警察・児相・ 教育研究所等)</td> <td style="width:16.6%; text-align: center;">近隣校 (小・高)</td> </tr> </table>					教育委員会	保護者	地域の人々	関係機関 (警察・児相・ 教育研究所等)	近隣校 (小・高)
教育委員会	保護者	地域の人々	関係機関 (警察・児相・ 教育研究所等)	近隣校 (小・高)						
パートナーとの関係の将来変化	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:16.6%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働の機会が増える。 </td> <td style="width:16.6%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる場面で連携の必要性の拡大。 </td> <td style="width:16.6%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャー等で学校との連携が進む。 </td> <td style="width:16.6%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導関係・交通安全関係、不登校生徒の対応等で連携が進む。 </td> <td style="width:16.6%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権学習・総合学習・生徒指導・特別支援教育等で連携強化(小)。 ・ 進路等での連携の強化。(高) </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働の機会が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる場面で連携の必要性の拡大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャー等で学校との連携が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導関係・交通安全関係、不登校生徒の対応等で連携が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権学習・総合学習・生徒指導・特別支援教育等で連携強化(小)。 ・ 進路等での連携の強化。(高)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働の機会が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる場面で連携の必要性の拡大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャー等で学校との連携が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導関係・交通安全関係、不登校生徒の対応等で連携が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権学習・総合学習・生徒指導・特別支援教育等で連携強化(小)。 ・ 進路等での連携の強化。(高) 						
7 その他の情報 児童生徒数 教職員数	<p>3年生111名, 2年生115名, 1年生95名 合計321名</p> <p>23人(期付講師 1名含む)+非常勤 6名</p>									